

疾患別

全国実力医師
シリーズ

医療評価ガイド取材班

名医1118人

全国

予防

最新治療&

心臓病

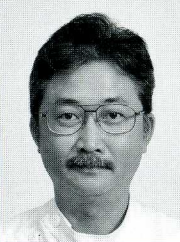
疾患別に

実力医師を選び抜く!

この1冊で気になる症状・検査・
標準治療・治療トピックがわかる

角川SSコミュニケーションズ

平塚共済病院 心臓センター 心臓血管外科



高橋 政夫 部長

神奈川県平塚市追分9-11
TEL: 0463-32-1950
最寄りの駅/JR東海道線
平塚駅、バス10分(北口
から①番のバス)・タクシ
ー7分

高橋政夫部長

Staff

石川智啓医長・小林剛志(臨床工学技士)

外来診療日

平塚共済病院/水曜(10:00~16:00)
小田原市立病院/第3金曜(14:00~16:30)
airdonut@kkr.hiratsuka.kanagawa.jpで問合わせを

Profile

たかはし・まさお。1963年福井県生まれ。金沢大学医学部卒。同第一外科、横浜栄共済病院等に勤務後、97年茅ヶ崎徳洲会病院にて日本で最も若い心臓血管外科部長就任。2000年パリ大学留学。01年から現職。心拍動下冠動脈バイパス手術を中心に成人心臓手術全般を行う。

実績・成績

高橋部長/心大血管手術累積数
770例(冠動脈バイパス術546
例、弁膜症137例、大動脈その
他87例)、年間症例数90例(20
08年度)。

科/心大血管手術累積数470
例、年間症例数90例。待機手術
の死亡率0.5%、緊急手術2.6%
(過去5年間の冠動脈バイパス手
術)。



治療

バイパス手術を、100%心拍動下で

高橋部長自らが開発したドーナツハートスタビライザーを用いた安全確実な術野でバイパスを繋ぐ冠動脈バイパスを100%心拍動下で行う、神奈川県内唯一の施設(重症例では人工心肺装置をスタンバイするが、過去5年間は未使用である)。

バイパス開存率は98.6%。SPY(スパイ)術中造影装置で術中に開存を確認でき、術後のカテーテル検査は不要となる。

心臓が拍動している状態で、1~2mmの細い血管を正確に吻合することは容易ではない、という問題を解決するため、同部長は自らドーナツハートスタビライザーという安定器具を開発したという経緯がある。ドーナツ様の穴で囲われた部分だけ心筋の動きを止め、安全確実な吻合が可能(ホームページで動画を公開中)。1993年に考案、動物実験により安全性を確認後、96年より臨床で使用。ドーナツハートスタビライザーは外国製のものより固定力に優れ、最大9か所のオフポンプバイパス手術(2003年に2例)は世界初。

さらに02年には、SPY(スパイ)術中造影装置をアジアで初めて導入。カナダ政府とNovadaq社が共同開発したこの装置は、手術中にバイパスグラフトの開存が確認可能なため、通常行われている手術後のカテーテル検査は不要である。

レントゲンの被曝もなく、腎臓に悪影響の造影剤を使用せず、副作用の少ないICG(インドシアニングリーン)を用いる点でも、低侵襲。手術直後に患者の家族にバイパスが良好に通っている様子を、実際の映像を見せながら説明している。

待機手術では、ほぼ100%オフポンプ手術で安全・確実に行えるため、清水功麻酔科部長との協力体制のもと、気管内挿管を行わないラリンジアルマスクを用いた全身麻酔を世界に先駆けて導入、より低侵襲な治療を確立した。最大の合併症である術中脳梗塞発生の有無を手術直後に確認できるメリットに加え、多くの場合、患者が手術室で麻酔より覚醒し、ICUでの面会時に家族と話せる。

より低侵襲で創の小さなMIDCAB(ミッドキャブ)手術を得意とし、バイパスする個所が少ない症例では積極的に行うほか、最近では、静脈グラフト採取も、EVH(内視鏡的静脈グラフト剥離法)を用い、より小さな創で行う。手術には循環器内科による心カテーテル検査を含む術前精査が必要だが、現在、次の病院からの紹介で手術を行っている。主な紹介元:東海大学医学部附属病院・小田原市立病院・山近記念総合病院・秦野赤十字病院・茅ヶ崎市民病院・茅ヶ崎徳洲会病院・湘南東部病院・足柄上病院・藤沢市民病院・大船中央病院・三井記念病院など。